

令和7年度 北海道小樽水産高等学校 第2回学校評議員会 議事録
日 時：令和7年（2025年）10月21日（火）10:00～11:00
会 場：北海道小樽水産高等学校 校長室
次 第：①校長挨拶 ②議事
出席者：葛西委員・遠藤委員・村上委員 亀山校長・長谷川教頭・八幡事務長
<p>議 事：</p> <p>ア 今年度の学校の状況について（教頭）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現在の在籍数及び生徒の状況 2 生徒特別指導 3 いじめアンケートの結果 4 進路指導 5 その他（特色ある活動や行事等） <p>イ 意見聴取</p> <p>＜委員から＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信科の入学者がここ2年減少しているがどのような要因があるのか。 → 工業高校や商業高校の学科と重なるところがあり、「情報」系の学科を希望する生徒は、高校の部活動や雰囲気などで進学先を選択している。入学後の学習面においても情報通信科は難しいというイメージがあるようで、体験入学においてもVR 体験などゲーム感覚の要素を取り入れ、情報通信科へのイメージを変えられえるような取り組みを行っている。 ・生徒特別指導について、同一の生徒によるものか → 同一の生徒ではない。1年生に落ち着きがなく、特別指導も多い。 ・昨年、授業態度であったり、生活指導の面でも指導ができていない中学校があると聞いていた。 → 中学校までに指導を受けてこなかった生徒に対しても、繰り返し粘り強く指導を行っている。授業中に空いている教員が教室の巡視をしたり、休み時間にも巡回を行っている。 ・「海と日本プロジェクト事業」には水産クラブとして参加しているのか。 → 水産クラブではなく、参加を希望した生徒が活動している。完成した「魚醤油」についても良いものができたと思う。 ・メディアや新聞を利用して学校活動の積極的なPRを発信してもらいたい。 ・中学校の教員が水産高校のことを知らない？ → 学校の活動を報道してもらえよう、教頭から各マスコミ媒体へ情報提供を行っている。中学校教員への広報活動については、これまで中学校訪問を軸として行っていたが、より効果的な方法について検討したい。 <p>ウ 校長より</p> <p>本校の課題について貴重なご意見をいただくことができた。今後、いただいた意見に基づき学校PR等に努めていく。委員の皆様におかれても、各所で本校の広報に御協力をお願いしたい。</p>